

2020年度 年末手当シリーズ⑮

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

とにかく、頑張ってください！

夏の手当支給額も20万円ほど昨年から下回り、ローンの返済に困りました。会社は社宅に期限を設けて追い出し、持ち家を推奨しながら、ローン返済に四苦八苦させる手当の減額は認められません！

今こそ、景気の良いときに世間相場をなどと抑え込んできたのだから、安定した支給額で社員に還元すべきです！

私は会社施策（新たなジョブローテーション）により転勤となった。新たな場でも安全・安定輸送を心掛けている。

現場で働く者はコロナ禍の状況で非常に苦勞して職責を全うしている。そうした「勞」を勞うためにも抑制ではなく還元すべきであり、内部留保を増やすだけでなく社員の将来のために投資をすべきだ！

コロナ禍において、会社の収支も赤字という中、今年のボーナスは期待できないと感じるところもありましたが、本部情報の内容や要求を知り、気合いが入りました！

我が家は大学受験や高校受験の息子の塾代やら毎月の給与をボーナスで補填しているのが現状です。もはや生活給となっています。住宅ローンの返済や学費など、今後不安は尽きませんが、満額獲得に向け私も職場で声を出します。共に頑張りましょう！

年末手当の回答次第で、転職を考えている若者が多い！会社の人材危機である！社員の期待を裏切る回答はするな！